

「シリーズあれから1年」

今回は昨年の4月に完成し、お引渡してから、丸1年を迎えた姫路のT様邸をご紹介します。お引渡し後も担当営業が度々お邪魔させてもらっており、この度も快くお出迎えして頂きました。

T様邸は大きな屋根が特徴の半分平屋で半分二階建て。ご夫婦ふたりでちょうど良い大きさのお住まいで、「庭を広くとったおかげで、風通しも良く日当たりが良いのよ!」と奥様。なるほどこの日もウッドデッキにお布団が気持ち良さそうに干されています。

お客様との出会いは、木のすまい主催の「産地見学会」に参加されたのがきっかけ。バスの中で「兵庫の山の現状」や「木の家」の話が聞かれ、「家を建てるならここに!」とご主人



木のすまい仕様の家 「夫婦ふたりのちいさな家」

「工事期間中はどうぞでしたか?」とお聞きしましたら、「仕事は丁寧で、工事に関わった方々全ての人が、みんながいい方ばかりで」と、うれしいお言葉を頂きました。特に気に入っている所は「冬は暖かく、夏は涼しいこの畳の間のリビングなの。お友達も自然に集まり、楽しくしています。夏にはここで、ゴロンと横になってお昼寝したら気持ちがいいのよ」と奥様。リビングの天井も屋根なりに高く、とても広がり感が感じられ、大きな屋根が庇(ひさし)代わりになり、涼しく心地良い風が「すつくと」2階のお部屋にまで届きます。趣味は野菜作りと、魚釣りのご主人様。旬の魚と自宅からすぐの畑で採れた野菜料理が、健康的でとても美味そうでした。



「ウッドマイレージ」の考え

私たちは木造住宅や木製品だけでなく、木材チップを原料とする紙など、一人当たりの年間約1m³の木材を消費しています。8割以上を占める日本の輸入木材多くは世界中のあらゆるところから運ばれているため、木材量に輸送距離を掛け合わせた「ウッドマイレージ」は、米国の約4・6倍にもなり、日本の特異な木材貿易の実態を示しています。

木材そのものは環境負荷の小さい建築材料なのですが、遠方国から運ばれてくる木材はその輸送過程に置いて莫大なCO₂を排出しています。様々な国から運ばれる際のCO₂排出量は木材製造時のCO₂排出量の約2・5倍にもなります。全て欧州材と全て地域材(150kmと仮定)を使用した木造住宅では、ガソリンに換算すれば約2700L分の消費エネルギーの差が出ます。

違法伐採問題も叫ばれる中、自国の森林資源ではなく、諸外国の森林資源に頼る私たちの木材消費の国際的責任は小さくありません。身近な森林資源を見直し、地域の木材利用へシフトすることが急がれる最大の課題といえます。

ひょうご木のすまい協議会

会長 三渡 圭介

【兵庫県林務課からのお知らせ】

「身近な国産材を使って家を建てたいのだけど、どこに、何を聞けば良いのかしら?」

そんなご相談にお応えするための相談窓口とインターネット上での情報サイトを開設しました。

■日本の木のいえ中央相談窓口
(財)日本住宅・木材技術センター内
03-3585-9311

■日本の木のいえ情報ナビ
<http://www.nihon-kinoie.jp/>
「インターネット」で『日本の木のいえ』
または『国産材住宅』で検索。

— ひょうご木のすまい協議会のイベントご案内 —

●ひょうごの木で家を建てる『家づくりセミナー』(第7期)

兵庫県産の木材を利用した家づくりを学ぶ「家づくりセミナー」を開催します。再生産可能で産地や性能・品質が明確な県産木材を活用した住まいライフスタイルを提供します。計5回の講座を通し、木の家の良さや家づくりを進めていく上でのポイントを図解や映像を活用し解り易く解説します。

- ・開催日
【第1回】H21年 9月26日(土)
【第2回】H21年10月24日(土)
【第3回】H21年11月21日(土)
【第4回】H21年12月 5日(土)
【第5回】H22年 1月16日(土)
- ・時間 13:00~15:30
- ・費用 5,000円(5回分)
- ・場所 神戸 兵庫県民会館

※詳しくは事務局までお問合せ下さい。



小冊子

「キノコトイェノコト ひょうご2009」

「ひょうごの木を使った木の家」について、ユーザーの話や兵庫県林務課の話などが、掲載されています。ひょうご木のすまい協議会メンバーの紹介の「頼れる工務店、見てある記」では、より良くひょうご木のすまい協議会を理解していただく内容となっております。

※小冊子「キノコトイェノコト」の欲しい方は事務局まで～送り先を事務局までお知らせ下さい。